

高退協ニュース

No. 199
2016年
3月3日
発行 協局
高知退協
事務局
〒780-0850

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸の内2丁目1番10
高知城ホール高教組交付
連絡先 Tel. 088-822-6822
郵便振替口座〇一六五〇二二一八九三

「こんな時だからこそ歴史と憲法は私の友達」 出版を記念する懇談会

歴史に学ぶために

宮川 敏彦



マ大統領に「辺野古に新基地（FWD OMEGA BASE）を作らないで下さい」と手紙を送りました。パカな一人でも出来ることはしなければなりません。

ともいうべきものです。書名は『こんな時だからこそ歴史と憲法は私の友達』ですが、「こんな時」とはどういう時なのか。

歴史の中では、時代が暗くても必ず未来が開ける、とかつてはみんな思ったものです。私はミャンマーのスーチンほど偉くないので、長期戦に堪える力はなく、弱気になって希望を失っています。政府・与党は戦争法体制に力で踏み切り、辺野古新基地建設に見られるように、成田空港以上の暴力的な工事を進めるにちがひありません。

私は1月、アメリカのオバマ出版祝賀会であいさつする宮川さん



レマルクの『西部戦線異状なし』はどうか。ある町の学校。窓の外では群衆の歓声に送ら

伊野町の北原博文先生に宛名の書き方を教えてもらいました。先生の話では「アメリカ国民は政策に対する意見を政府や議員などに積極的に主張する。手紙もどんどん出す。受け取った側もよく読む。」国柄だそうです。私の手紙は中学2年生程度の作文にも劣る恥ずかしいものですが、それでも何千、何万の手紙がホワイトハウスに届いて、お付きの職員さんでも万々に読んでくれるならありがたいことです。オバマ大統領は専制的な独裁者ではないので、理性的・民主的に考えてくれることをかすかに期待しています。

3/26 (土) 高知共済会館 18時から
「退職組合員を励まし、新加入を祝う会」
5/8 (日) 高知城ホール (議案発送4/5)
高退協総会と新加入を祝う会

れて、戦争へ行く若者の部隊がダグダグダグと行進していく。老先生は生徒達をおおきく、次々と軍人になっていきます。第1次大戦が始まったのは1914年の7月でしたから、「クリスマス」の頃には帰って来るだろう」と誰も疑わなかった。しかし、1年経っても2年経っても戦争は終わりません。終戦1ヶ月前の1918年10月、主人公のパウル・ボイメルは戦死します。軍司令部は「西部戦線異状なし、報告すべき件はなし」と。やがて日本でも、アメリカの戦争に参加した自衛隊員が、2人、3人と棺桶で帰って来る。その時、「戦線異状なし、報告すべき件はなし」と防衛大臣は言うのでしうか。

野坂昭如さんの『火垂るの墓』、戦争はこんなにも悲しい。10月近く前、8月の『三ノ谷』の特集でこの作品の紹介がありました。時折り適当なことをいうテレビタレントが俳優の大竹誠さんですが、その朗読会に参加したそうです。「最初からおしまいで涙が流れて、流れて、止めようがなかった」と悲しく話しておりました。14才の清太と4才の妹・節子の兄妹が戦争と空襲、焼け野原の中をたくましく生きていく短い小説です。着るものも食べるものもなく、死が近づいている節子は、石ころを2つ並べて、「お兄ちゃん、どうぞ食べて」、「ご飯や。お茶も欲しい?」と。やさしくて賢い妹でした。終戦の20年8月22日昼、清太が貯水池で泳いで帰ると、骨と皮だけにやせ衰えた節子は死んでいました。



哀悼
三橋 巖 12月3日逝去
小島 進 1月1日逝去
橋本 雍子 1月18日逝去
浜田 節子 2月20日逝去
林 勤 2月28日逝去
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

次子は200号記念特集版、高退協全員の声を載せたいものです。同封の景書に一言書いて送って下さい。写真やイラストをお持ちの方は、それを送って下されば嬉しいです。